

3L117/4L117 地域歴史遺産保全活用基礎論

2019年度 第3・4Q 木曜1限 市澤哲 先生・古市晃 先生



キーワード：地域歴史遺産 地域文化財

このリストに掲載されている資料は、**人文科学図書館 KULiPコーナー**に配架してあります。

地域歴史遺産保全活用基礎論

- [「地域歴史遺産」の可能性 / 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター編 岩田書院, 2013.](#) 
「地域歴史遺産」の保全・活用を考え、実践してきた著者たちによる、「地域歴史遺産」論の入門書。「地域社会の変容と『地域歴史遺産』」、「『地域歴史資料学』の広がり」、「『地域歴史遺産』『地域歴史資料学』を担う人びと」の三部から成り、資料の保全と活用の多様なあり方を提唱する内容となっている。
[216-4-TIK]
- [地域歴史遺産と現代社会 / 奥村弘, 村井良介, 木村修二編 神戸大学出版会, 2018.](#) 
日本の地域社会をどのように、住民のために築いて動かしていくのか。地域づくりのあり方は多種多様だが、その際の鍵のひとつに、地域歴史遺産があげられる。本書は地域固有の遺産を通じて、歴史と文化を活かした地域づくりを豊富な実践例から学べる。
[318-08-TIK]
- [歴史文化を大災害から守る：地域歴史資料学の構築 / 奥村弘編 東京大学出版会, 2014.](#) 
阪神・淡路大震災を経験した神戸で構築されてきた、歴史文化を災害から守る手立て。地域に根差し、市民と連携した地域歴史資料学について具体的に紹介する。
[709-1-REK]
- [大震災と歴史資料保存：阪神・淡路大震災から東日本大震災へ / 奥村弘著 吉川弘文館, 2012.](#) 
阪神淡路大震災をきっかけとして歴史資料の救出活動を展開し、その後地域に残る歴史資料を活用することを通じた「まちづくり」、「むらおこし」を提唱した著者の論考を集めたもの。博物館に収蔵される「選ばれた資料」だけでなく、地域に残る資料を地域で保全し活用することをめざす「地域歴史遺産」論を知る上で必読の書。
[369-31-OKU]
- [市町村合併の幻想 / 岡田知弘, 京都自治体問題研究所編【重版】自治体研究社, 2004.](#) 
戦後日本の博物館を支えてきた地方自治体が危機に瀕している。地方自治体の危機の背景には何があるのか、それを立て直すとする政策のどこが問題なのか、そして地方自治体を立て直す秘策はあるのか。自由競争のつぼの中に放り込まれ呻吟する地方の博物館の未来を考える手がかりを得たい。
[378-262-SIT]
- [歴史資料の保存と地方史研究 / 地方史研究協議会編 岩田書院, 2009.](#) 
地方史の研究で欠かせない、資料の保存と博物館等の役割について、歴史資料の保存とは何か、という根本に立ち返ったうえで議論、検討した記録。
[014-72-REK]
- [地域と人びとをささえる資料：古文書からプランクトンまで / 神奈川地域資料保全ネットワーク編 勉誠出版, 2016.](#) 
地域の資料は災害によらずとも、現在半ば恒常的に存続の危機に直面している。一方で、地域社会で人々のつながりを強める役割を果たしている事例も少なくない。地域資料を保存し、活用していくにはどうしたらよいのかを、現場の経験から探っており、参考となります。
[014-72-TIK]

- [過去を伝える、今を遺す：歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか / 九州史学会、史学会編 山川出版社, 2015.](#) 
史学会125周年記念。アーカイブズ学や歴史教育といった観点から、史料とデジタル化、教育、市民や若い世代への継承をテーマに取り上げます。記憶や記録を真に人々の共有財産として活かすにはどうしたらいいかを問いかけています。
[204-0-SIG]
- [人文系博物館資料論 / 青木豊編 雄山閣, 2012.](#) 
博物館資料について具体的に学習するための図書として、以下を紹介する。青木氏の本は歴史博物館など人文系の博物館を中心に、資料の収集から展示までを論じています。
[069-4-ZIN]
- [自治体史編纂と史料保存 / 高橋実著 岩田書院, 1997.](#) 
自治体史編纂事業は、地域の幅広い文化運動と史料保存運動が軸となるべきことや、史料保存と文書館をめぐる具体的な課題について論じています。
[018-09-TAK]
- [21世紀の文化行政：地域史料の保存と活用 / 地方史研究協議会編 名著出版, 2001.](#) 
財政再建・行政革命のなか、埋蔵文化財、歴史系博物館、地域博物館、文書館それぞれの立場から、史資料の保存と公開のために実現してきた理念・法制・施設を議論しています。
[210-2-NIZ]
- [歴史遺産を未来へ / 平川新, 佐藤大介編 東北大学東北アジア研究センター, 2011.](#) 
東日本で取り組まれてきた資料保全の事例から、地域歴史遺産を千年後まで伝える方法を検討する。2010年のシンポジウム記録で、2011年東日本大震災以前から行われてきた取り組みを知る上でも貴重。
[014-6-REK]
- [社会変容と民間アーカイブズ：地域の持続へ向けて / 国文学研究資料館編 勉誠出版, 2017.](#) 
私たちは身近にある資料といかにつきあっていけばいいのか。人びとの営みを伝える民間アーカイブズは現在、過疎化や災害など、近年の社会構造変動により、滅失の危機にある。地域のアーカイブズを取り巻く環境、存在形態、保存方法などを、現場からの視点で考え提示する。
[018-09-SYA]
- [「総合資料学」の挑戦：異分野融合研究の最前線 / 国立歴史民俗博物館編 吉川弘文館, 2017.](#) 
全国の大学や博物館が所蔵し、生み出してきた多種多様な資料を、新たな視点で把握し、デジタルデータとして結びつけて活用する異分野融合型研究「総合資料学」。大学と博物館・図書館等の連携、デジタル技術とアーカイブの概要と実践例を紹介。
[069-4-SOU]